

商品	☐ すべて	☒ 国内株式	☐ 米国株式	☐ 投資信託	☐ 債券
	☐ SBIラップ				
期間	☒ 約定日	☐ 受渡日			
	2026/06/22	☐	から	2026/06/22	☐
	今日	今週	今月	今年	
種類	☐ すべて	☐ 現物	☒ 信用		
口座	☒ すべて	☐ 特定	☐ 一般	☐ NISA (成長)	☐ 旧NISA
照会					

【反省】

①→寄り付き付近のスクalpピングは、+4,000円ほどで終了。貰かれて損切りになった取引もあったが、トータルではプラスで終わることができた。

②→その後は方向感が出たと感じたため、値幅を取るトレードへ切り替えた。しかし実際には環境認識を誤っており、相場は横ばい。さらに目線が合っていてもエントリーが早かったため、ことごとく損切りになった。スクalp狙いであれば取れていた利益もあったと思うが、それを加味してもトータルでは負けていたと思う。今日の敗因は、トレンドを確認する前に「こうなりそう」でエントリーしてしまったこと。月曜日は取引の感覚がかなりずれている傾向がある。もっとチャンスを待たなければならなかった。

録画を見直してみると、ほとんどが大チャンスではない場所でエントリーしている。負けている時は大体こういうエントリーになっていると改めて感じた。

特に、トレンドができていない方向への逆張りを値幅狙いで取引し始めると、大体うまくいかない。数ティック狙いならまだ分かるが、値幅を取りにいったうまいのは本当に稀。このパターンはやめる。それに加えて、本来であれば大チャンスであるはずのポイントではエントリーできていなかった。

振り返っていると、ショートでエントリーするポイントの逆が、そのままロングのエントリーポイントとして出ていた。取引中は全く気付かなかったが、これは良い収穫だった。

後場も意固地になって取引を続けていたら、間違いなくもっと負けていたと思う。ソフバンに関しては、やればやるほど負けられる相場だった。損切りラインを大きく放置するスタイルなら別だが、損切りを徹底する自分にとっては、トレンド転換をすると見せかけながら延々と横ばいが続く相場は非常にやりづらい。本来であればエントリーする場所がないのに、負けている時ほどそういう場所に無理やりエントリーしてしまう。そして損切りを重ねる。この負け方を自分は何度も繰り返してきた。

だから、うまくいかない時は何かがおかしいか、もしくはトレンドができていない場所で延々と取引をしている可能性が高い。それに気付かないまま取引を続けてしまう。

今の自分のロットで1万円負けるということは、かなりやり方を間違えているということ。もっと、早くやめるべきではあったが1万円の損失に抑えるというルールを守ったことはとても良かった。

月曜日や連休明けは、取引の感覚を忘れていて噛み合わない日が多い。今日はまさにそんな日だった。まずは修正し、焦らずチャンスを待ちたい。

【明日の作戦】

寄り付き付近→スクalp徹底・値幅は意識しない。

それ以降→トレンド転換の起点を狙わない。トレンドが発生していることをしっかり確認し、エントリーサインが出た時だけエントリーすることを徹底する。